

岩手医科大学看護学部紀要投稿規程

制定 令和4年1月19日

(目的)

第1条 この規程は、岩手医科大学看護学部（以下「本学部」という。）における教員等の研究成果を広く学内外に発信することを目的として、岩手医科大学看護学部紀要（英文誌名：Journal of School of Nursing, Iwate Medical University、以下「紀要」という。）を発行するにあたり、必要な事項を定める。

(編集)

第2条 紀要の編集は、看護学部紀要委員会（以下「委員会」という。）が行う。

(発行)

第3条 紀要の発行は、原則として年1回とし、岩手医科大学リポジトリにて公開する（原則として、冊子体での発行は行わない）。ただし、委員会の議を経て看護学部教授会（以下「教授会」という。）で承認された場合は、随時発行することができる。

(筆頭著者の資格)

第4条 筆頭著者の資格を有する者は、次の者とする。

- (1) 本学部の教員
- (2) 本学部の元教員
- (3) 本学部の非常勤講師
- (4) 委員会が執筆を依頼した者
- (5) その他、委員会が認めた者

(著者の資格)

第5条 著者の資格を有する者は、次の基準のいずれかを満たす者とし、基準を満たさない研究貢献者は、謝辞にそれぞれの貢献内容を記載する。

- (1) 研究の構想やデザイン、データ収集、データ分析及び解釈に貢献した者
- (2) 論文原稿の作成または校閲に関与し、改訂や助言をした者
- (3) 投稿論文の最終承認を行った者

(投稿論文の種類)

第6条 投稿論文の種類及び内容は、以下のとおりとし、未発表（投稿中及び印刷中の論文を含む）のものに限る。

- (1) 原著論文

研究論文のうち、研究そのものに独創性があり、新しい知見を含めて体系的に研究成果が記述されており、看護学及び関連分野の知識として意義が明らかであるもの。

- (2) 研究報告

研究論文のうち、研究成果の意義が大きく、看護学及び関連分野の発展に寄与すると認められるもの。

- (3) 総説

特定のテーマについての知見を集め、文献等をレビューし、総合的に学問的状况を概説したもの。

(4) 資料

調査や実践で得られたデータや資料で看護学及び関連分野において公表する価値があるもの。

(5) その他、委員会が掲載を認めたもの。

(投稿手続)

第7条 投稿者は、次の諸手続を行うものとする。

(1) 投稿原稿2部のうち1部は、氏名、所属、倫理委員会名称(承認番号)、謝辞、助成金及び科研費番号等を取り外して施設や個人を特定する事項を削除する。

(2) 投稿論文チェックリスト(別紙様式1)、著作権譲渡同意書(別紙様式2)及び利益相反自己申告書(別紙様式3)を入力し、論文ファイルとともに提出する。

(3) 投稿原稿は、別に定める執筆要領に従って作成し、メール添付で投稿用メールアドレスに送信する。

なお、件名は「岩手医科大学看護学部紀要投稿原稿」とする。

(倫理的配慮)

第8条 人及び動物を対象とする研究は、倫理的配慮を行い、その旨を本文中に明記するほか、著者の所属機関等の研究倫理審査委員会の承認またはそれに準ずる委員会等で許可を得る必要がある。

(利益相反)

第9条 著者は、本文末に利益相反の開示について記載することとし、当該研究の遂行や論文作成において、利益相反となるような経済的支援を受けた場合には、その旨を記載する。

2 利益相反状態が存在しない場合には、「本研究における利益相反は存在しない」と記載する。

(投稿論文の採否)

第10条 投稿論文等の採否は、原則として査読者による査読を経て委員会が決定する。

2 査読者は、委員会が依頼する。

3 査読者による査読の結果、委員会は著者に対し、原稿内容の加筆・修正及び原稿の種類の変更を求めることができる。

4 投稿原稿は、原則として返却しない。

(著者校正)

第11条 査読を経て、受理された投稿原稿については、著者校正を原則として1回行う。ただし、校正に際しては、字句の訂正に留め、著者による加筆・修正・削除は、原則として認めない。

(著作権)

第12条 投稿論文の著作権は、電子媒体も含め、全て岩手医科大学に帰属する。

(規程の改廃)

第13条 この規程の改廃は、委員会及び教授会の議を経て看護学部長が行う。

(事務)

第14条 この規程に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

この規程は、令和4年1月19日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年2月13日から施行する。（投稿手続及び著作権の帰属先の変更）

附 則

この規程は、令和5年6月21日から施行する。（投稿手続及び別紙様式1の変更ならびに別紙様式3の追加）

附 則

この規程は、令和6年7月17日から施行する。（別紙様式1の変更）

(様式1)

投稿論文チェックリスト

*投稿する前に、このリストに沿って原稿を点検し、『岩手医科大学看護学部紀要投稿規程（以下「投稿規程」という。）』及び『岩手医科大学看護学部紀要執筆要領（以下「執筆要領」という。）』に準じていることを確認し、項目の□内に✓印をつけてください。なお、非該当の項目の□内には×印をつけてください。

記入日 : _____

論文表題 : _____

投稿者 : _____

以下の1.~30.の全ての項目をチェックした。

【投稿に関する確認事項】

- 1. 原稿の内容は、他の出版物（国内外を問わず）にすでに発表あるいは投稿されていない。
- 2. 筆頭著者は、岩手医科大学看護学部の教員（元教員、非常勤講師を含む）、あるいは、看護学部紀要委員会（以下「委員会」という。）が執筆を依頼した者、その他、委員会が認めた者である。
- 3. 投稿論文作成に当たり各著者が以下の項目のいずれかを満たしている。
 - (1) 研究の構想やデザイン、データ収集、データ分析および解釈に貢献した者。
 - (2) 論文原稿の作成または校閲に関与し、改訂や助言をした者。
 - (3) 投稿論文の最終承認を行った者。

【原稿作成に関する確認事項】

- 4. 原稿は、和文または英文である。
- 5. 原稿は、標準的なフォント（和文はMS明朝またはMSゴシック、英文及び数字にはTimes New Roman）である。
- 6. 原稿は、A4用紙横書きで、35字×28行で記述しており、句読点は「、」または「。」で統一されている。
- 7. 原稿の本文の文字サイズは、10.5ポイントである。
- 8. 原稿の種類は、投稿規程第6条各号に定めるものである。
- 9. 原稿枚数は、本文、文献、図表を含めて20枚以内である。
- 10. 投稿原稿の下部中央にページ番号を記載している（表紙、要旨、付録以外）。
- 11. 見出しは、章（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ…）、節（1・2・3…）、項【(1)・(2)・(3)…】、項の下は【(1)・(2)・(3)…】で記載し、MSゴシックで統一している。
- 12. 原稿は、表紙、要旨、本文、文献、図、表の順に作成し、原則として、Ⅰ. 緒言（はじめに）、Ⅱ. 目的、Ⅲ. 方法、Ⅳ. 結果、Ⅴ. 考察、Ⅵ. 結論、文献の順に本文を構成している。
- 13. 表紙には、論文の種類、表題（和文・英文）、著者名（和文・英文）、所属（和文・英文）、5語以内のキーワード（和文・英文）を記載している。
- 14. 要旨には、原則として、目的・方法・結果・結論の項目を付し、それぞれにつき簡潔に述べている。
- 15. 和文要旨は、400字以内である。 _____ 字
英文要旨は、250 words 以内である。 _____ Words
英文要旨はnative check 受け、証明書（様式任意）を添付している。
- 16. 人及び動物を対象とする研究は、倫理的配慮を行い、その内容が具体的に記載されている。また、著者の所属機関等の研究倫理審査委員会の承認またはそれに準ずる委員会等で許可を得ている。
- 17. 誤字、人名のスペルミス、文献記載の不備等の誤りはない。
- 18. 投稿原稿2部のうち1部は、氏名・所属・倫理委員会名称（承認番号）・謝辞・助成金及び科研費番号ほか、

個人や施設を特定できるような事項を取り外してある。(本文中にある倫理委員会名称・承認番号・謝辞・助成金・科研費番号は、「〇〇〇〇の倫理審査委員会の承認(承認番号〇〇-〇〇)」等のように行数、ページ番号が変わらないように〇〇で表記する。表紙に記載してある氏名、所属に関しては削除する。)

【文献に関する確認事項】

- 19. 文献の種類による記載方法は、執筆要領に従っている。
- 20. 文献の情報は、原典と相違ない。
- 21. 本文中の文献の引用では、著者名及び発行年次を括弧表示している。
- 22. 本文中の文献(著者、年次)と文献リスト内同文献の著者、年次が一致している。
- 23. 文献の共著者は、3名まで表記し、アルファベット順、次いで刊行順に列記している。

【図表に関する確認事項】

- 24. 図・表には、論文内でそれぞれ通し番号を付している。
- 25. 図の表題は、図の直下に中央揃えにて記載する。
- 26. 表の表題は、表の直上に中央揃えにて記載する。
- 27. 図・表の数が本文の引用と一致しており、本文原稿右欄外に挿入希望位置を示している。
- 28. 図・表は、1ページに1点として作成している(ページ番号は不要)。
- 29. 表は、基本的に横線のみで表示し、縦線はすべて消している。
- 30. 数字は、正の数、負の数に関わらず、同列内の小数点の位置、小数点以下の桁数(有効数字に応じて)を揃えている。

(様式2)

著作権譲渡同意書

岩手医科大学長 殿

論文名 _____

標記論文は、下記の署名した全執筆者が共同で書いたものであり、今までに他誌に発表されたことがなく、また、投稿中ではありません。

標記論文が岩手医科大学看護学部紀要に掲載された場合は、その著作権を岩手医科大学へ譲渡すること、ならびに、同論文が岩手医科大学リポジトリに登録され、公開されることに同意します。また、岩手医科大学及び岩手医科大学が指定する第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。

筆頭著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

共著者氏名 _____ 同意日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日

筆頭著者のみ自筆署名し、同意日もご記入ください。共著者については、自筆署名の必要はありませんが、投稿前に必ず全ての著者の同意をとってください(該当欄へのデジタル入力でも構いません)。筆頭者、共著者ともに捺印は不要です。なお、共著者氏名欄が不足する場合には、本用紙をコピーしたものに続けてご記入ください。

*この申告書は、PDF化しご提出ください。

(様式3)

利益相反自己申告書

岩手医科大学長 殿

論文名：

筆頭著者氏名(自筆署名)： 記載日(西暦)： 年 月 日

標記論文の全著者及び生計を一にする扶養親族の者は、下記①～⑭の経済的利害関係・産学連携活動等の関係をもつ法人等(企業・団体など)の活動について、昨年度及び今後1年分(見込を含む)の状況は下記及び別表(次ページ)に相違ないことを筆頭著者が代表して申告します。

- ① 年間100万円以上の企業、法人組織、団体等からの収入(技術指導等、役員・顧問職含む)
- ② 年間100万円以上の株式による利益(配当、売却益の総和)、株式(新株予約権を含む)を保有(公開株式は5%以上、未公開株式は1株以上、新株予約権は1個以上)
- ③ 年間100万円以上の知的財産権等使用料等
- ④ 年間50万円以上の1つの企業等からの講演料(企業等から会議の出席(発表)に際して、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当(講演料等))
- ⑤ 年間50万円以上の1つの企業等からのパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料
- ⑥ 年間200万円以上の1つの企業等が提供する研究費(受託研究費、共同研究費、臨床試験等)
- ⑦ 年間200万円以上の1つの企業等が提供する奨学(奨励)寄附金、⑧ 企業等が提供する寄附講座に申告者らが所属している場合
- ⑨ 融資、保証の受入(銀行などの金融機関以外)、⑩ 受託研究員等の受入、⑪ 法人等への学生又は他の学内教員の関与
- ⑫ 年間100万円以上の1つの企業等が提供する設備及び備品等の供与
- ⑬ 年間100万円を超える物品・設備・システム等購入および業務委託(教育研究のほか、仕様策定や機種選定、物品等導入に携わる場合も対象。また、機器の修理等、役務も含む。)
- ⑭ その他①～⑬以外の経済的利害関係及び産学連携活動に類似した活動の実施

筆頭著者も含めた著者全員の利益相反の状況を申告し、上記の①～⑭に該当する著者は別表1を提出してください(デジタル入力で構いません)。論文修正の際に著者を追加する場合には、再度この申告書を提出してください。

著者氏名	利益相反の状況(①～⑭の該当)		記載日(西暦)
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日
	<input type="checkbox"/> 該当あり	<input type="checkbox"/> 該当なし	年 月 日

*この申告書は、PDF化してご提出ください。

別表 1

著者氏名	相手方法人等名 (名称は略さず正確に記載)	経済的利害関係および産学連携活動等の関係				対象者 (氏名及び著者との関係)
		経済的利害関係・産学連携活動等の番号 (前ページ①～⑭から選択)	対象活動の具体的内容	時期または期間	金額(内訳) 保有株数	
例: 矢巾太郎	例) ○○○製薬株式会社	④	講演謝金として	2022年 5月2日、8月3日、 9月25日	500,000円 (3回)	○○○○ (本人)

*この申告書は、PDF化してご提出ください。